

日本マクドナルド “主婦”向けクルー体験会を開催 ～“働きやすさ”をアピール～

日本マクドナルドは9月5日（火）から10月31日（火）までの約2か月間、“大丈夫。”をキーメッセージに全国のマクドナルド店舗で、クルーの採用強化を目的とした「マックなら、大丈夫。」キャンペーンを実施する。

今春に実施した「クルーになろう。キャンペーン」（2月1日～5月31日の4か月間）では、学生をメインターゲットに展開。史上初となる全店舗でのクルー体験会を実施し、約18,000人がマクドナルドの仕事を体験し、キャンペーン期間中の採用人数は当初予定を超える約28,000人を実現した。

今回は、子供の夏休みが終わり生活スケジュールに変化のあるこの時期に、主婦をメインターゲットに「マックなら、大丈夫。」キャンペーンを実施。自分に合った仕事が見つけられない制約や、仕事への不安や心配に対して、主婦の事情に適した働き方の提案を実施する。

キャンペーンでは、仕事体験の他、“週1回2時間からでも働ける”などのシフトやサポート面の説明、現役クルーの生の声を聞ける機会なども設ける。

同キャンペーン発表会にコメンテーターとして登壇した東京大学大学総合研究センター准教授の中原淳氏は、現在の日本の主婦のパート・アルバイト事情について、『女性の潜在労働力』（今、働いていないが、働ける女性の労働力）は315万人。また、女性の潜在労働力の中で、主婦は180万人いる。さらに、2025年に企業で不足する労働者の数は583万人。現在は約250万人の労働力不足であり、2025年には今の2.3倍労働力が獲得できなく・・・
続きは正規版にお申し込み下さい。



主婦クルー 松島尚美さん 主婦店長

■主婦は何を求めてバイトを探しているのか？

<小学生以下の子供を持つ主婦>

- ・短時間勤務が可能で隙間時間の活用を希望 75.6%

<大学生以上の子供を持つ主婦>

- ・社会との接点を希望 31.8%

■主婦層がアルバイト・パートの仕事をスタートして陥るトラブルは？

- ・面接での説明より実際の仕事量が多い 23.4%
- ・ベテランスタッフから高圧的な態度を取られる 23.4%

■主婦層が働きたい気持ちに影響する要素は？

- 1位. 上司から他のメンバーと平等に接してもらえる
- 2位. ミスが発生した時、上司から十分なフォローがある